

海浜環境整備に関するアンケート調査について

九州産業大学 学生員○得丸 八郎
九州産業大学 正 員 奥蘭 英明

1. はしがき

近年、我が国の海洋性レクリエーションに対する需要の増大は著しい。特に海水浴利用を主体とした人工海浜造成への要請は高く、人工海浜事業は海岸事業の主要な存在になりつつあるとさえ云われている。ここでは、人工海浜と自然海浜の多くの海水浴場において利用者に対するアンケート調査を実施し、利用形態と意識を把握することにより、今後のライフスタイルの変化に対応した海浜の環境整備のあり方を見い出そうとするものである。

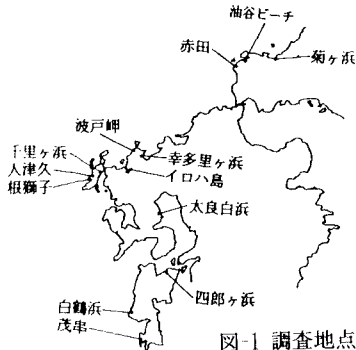


図-1 調査地点

2. 現地調査の概要

調査地点としては図-1に示す人工ビーチ（油谷ビーチ・波戸岬・イロハ島・太良白浜・四郎ヶ浜）の5ビーチと、自然のビーチ（菊ヶ浜・赤田・幸多里ヶ浜・千里ヶ浜・人津久・根獅子・白鶴浜・茂串）の8ビーチである。現地調査は、表-1に示すようにいずれも1996年の7月25日～8月6日の平日の午前と午後に行った。利用者に対する意識調査の内容は各ビーチの満足度や、利用目的・利用回数、選定理由など合計20項目とした。自然環境の調査項目として、天候・気温・水温・海水の透明度を求めた。また、調査時には海水浴場の全景をビデオカメラ及び写真撮影することにより、ビーチの利用形態を明らかにするのに参考にした。

3. 調査結果及び考察

図-2は、海水浴場での利用目的を示したものである。これによると「海水浴」と答えた人は、自然のビーチ（以下、自然とする）51.0%、人工ビーチ（以下、人工とする）52.4% と共に半数をしめているが、「家族サービス」と答えた人は、自然11.9%、人工22.6%、「グループの親睦」と答えた人は、自然10.3%、人工3.2%とかなりの違いがある。これは、自然のビーチは外海に面したものが多く、若年層のグループに特に好まれ、小さな子供づれの家族には静穏度の高い人工ビーチが好まれていることによる。

表-1 現地の調査結果

	アンケート実施日	アンケート実施時間	天	気	気	温	水	温	水の透明度	アンケート回数	駐車場の数	駐車料金の有無	ビーチの利用客
人工ビーチ	油谷ビーチ	8/5(月) 8/6(火)	12:45~14:18 11:40~12:20	晴れ	晴れ	31.0℃ 32.0℃	29.0℃ 27.5℃	5m	64枚 36枚	160台	有料(500円)	平日 500人 休日 2500人	
	波戸岬	8/1(木) 8/2(金)	14:20~15:32 10:40~11:30	晴れ	晴れ	33.0℃ 34.0℃	27.0℃ 30.5℃	6m	50枚 32枚	100台	無料	平日 100人 休日 500人	
	イロハ島	8/1(木) 8/2(金)	11:40~12:50 15:03~16:20	晴れ	晴れ	35.0℃ 34.0℃	30.5℃ 30.5℃	3m	20枚 18枚	120台	有料(200円)	平日 130人 休日 700人	
	太良白浜	7/27(土)	10:36~11:30 13:08~16:10	晴れ	晴れ	33.5℃ 34.0℃	29.0℃ 30.0℃	1m	89枚	210台	無料	平日 150人 休日 1000人	
	四郎ヶ浜	7/30(火) 7/31(水)	13:35~14:10 16:00~16:29	晴れ	晴れ	33.0℃ 32.5℃	28.0℃ 27.5℃	3m	78枚 23枚	100台	無料	平日 3000人 休日 8000人	
	菊ヶ浜	8/5(月)	15:45~17:15	晴れ		29.5℃	29.5℃	3m	81枚	43台	有料	平日 3000人 休日 15000人	
自然のビーチ	赤田	8/5(月) 8/6(火)	10:55~11:40 13:40~14:50	晴れ	晴れ	32.0℃ 32.0℃	28.5℃ 27.5℃	16m以上	39枚 61枚	160台	有料	平日 200人 休日 1000人	
	幸多里ヶ浜	8/1(木) 8/2(金)	16:20~17:08 10:40~11:30	晴れ	晴れ	32.5℃ 34.0℃	29.5℃ 30.5℃	5m	37枚 27枚	50台	有料(500円)	平日 300人 休日 2000人	
	千里ヶ浜	7/25(木) 7/26(金)	12:55~13:40 10:21~11:53	晴れ	晴れ	31.0℃ 32.0℃	31.0℃ 32.0℃	3m以上	11枚 13枚	100台	有料(700円)	平日 60人 休日 150人	
	人津久	7/25(木) 7/26(金)	14:52~15:20 15:30~15:40	晴れ	晴れ	34.0℃ 32.5℃	31.0℃ 28.0℃	10m以上	38枚 15枚	125台	有料(500円)	平日 150人 休日 650人	
	根獅子	7/25(木) 7/26(金)	13:07~13:47 13:20~14:05	晴れ	晴れ	35.0℃ 35.0℃	30.0℃ 28.0℃	15m以上	20枚 34枚	450台	有料(500円)	平日 120人 休日 500人	
	白鶴浜	7/30(火) 7/31(水)	16:15~17:30 13:45~14:40	晴れ	晴れ	33.0℃ 35.0℃	30.0℃ 28.2℃	10m以上	50枚 49枚	0		平日 200人 休日 1000人	
	茂串	7/31(水)	10:15~11:43	晴れ		33.0℃	27.5℃	10m以上	37枚	250台	有料	平日 200人 休日 1500人	

図 3は、遊泳時間を示したものである。「2時間未満」が人工44.2%、「4時間未満」が自然49.5%、と最大になっている。これは、海水の透明度や海水浴場までの移動時間なども関係しているが、自然のビーチの方が遊泳時間が比較的長くなっている。

図-4の海の家の利用回数については自然、人工共にほぼ同じような値となっている。なかでも「利用しない」が共に半数以上を占めており、これに対する対応が必要と思われる。

図-5は、各ビーチの満足度を示したものである。これによると、「満足」と答えた人が自然33.2%、人工21.5%であり「ほぼ満足」と答えたのは、自然36.8%、人工46.5%となっている。人工ビーチよりも自然のビーチの方が満足度が高い。

図-6は、海水の透明度について示したものである。自然は、「満足」「ほぼ満足」とで76.5%と高い値を示しているが、人工は、「普通」「やや不満」「不満」で55.3%とかなり厳しい評価を受けているのがわかる。

図 7は、ビーチを選んだ理由について示したものである。自然は、「水がきれいだから」が43.1%とほぼ半数を占めているのがわかる。人工については、「近いから」が31.2%であり、この他、「有名」「TV・本で見た」「設備が良い」「安全」などで25.1%を占めている。

4. むすび

以上、本研究では、自然海岸と人工海岸でアンケート調査を実施し、比較検討を行った。その結果を要約すると、つぎのようである。

- ①海水浴の利用目的は、自然のビーチと人工のビーチによって異なり、また年齢によっても海水浴場の利用形態が違う。
- ②海の家 utilization については、自然・人工共に、利用されない方向にある。
- ③海水の透明度については、人工海岸は、7割近くが不満を抱いており、かなり厳しい評価を受けている。
- ④ビーチの選定理由は、自然のビーチは「水がきれいだから」人工のビーチは「近いから」が最も多く、利用形態がやや異なる。

参 考 文 献

- 1)井上雅夫・島田広昭：大阪府下における人工海水浴場の環境と情報に関する現地調査,第37巻海岸工学論文集, p p. 883~887, 1990

